

最高級の鹿革に本漆で模様をつけた 伝統工芸品、印傳。

印傳は平安朝時代にインドから伝来 した技法で、当時は貴族達の間で珍 重されておりました。 鹿革は時が経 つにつれて皮革が馴染み色が冴える ため、美しい風合いが増す特長があ ります。ソフトでなめらかな手触り は飽きがなく、使い心地バッグン。



■匠の技が光る、伝統の逸品。



印傳財布は、ひとつひとつ職人による手作業でお作りしております。肩押技法を施し、柔らかくなめらかな感触に仕上げました。上質な鹿革をなめして漆で模様をつけているためかぶれることも少なく、使うほどに馴染みます。



▮縁起のよい、トンボ柄。

トンボは素早く飛び回り、前にしか進まず、 退かないというところから「不転退(退く に転せず、決して退却をしない)」の精神を 表すものとして、【勝ち虫】と呼ばれており、 昔から縁起物として喜ばれています。



上や

品か

なな

光肌

沢触

をり

放と

■材質: 〔表地〕 鹿革 〔裏地〕 ビニール、〔口金〕 鉄

■カラー:ブラック×レッド、ブラック×ベージュ、イエロー×ブラック

■サイズ/重量:(約)8×9×2.5cm/約20g

■生産国:日本製 ■保証書:無 ■使用説明書:有

鹿革印傳本漆(トンボ柄)

小がま口財布



2,980円(+税)